

第四十八回宗像歌会

平成二十九年五月二十日(土)

自由詠

題詠『気』

気の向くままに
新芽を伸ばす

気持ちが落ち込んだ時
外に出よう

雨後の若木
まるで

歩く 見る 知る
心に刺激

千手観音の手のよう

いつの間にか元気

玉田 久美子

杉本 明美



ギターの伴奏に乗せて
優しくときには力強く感情込める

笑いと涙と
感動と

まさ子さんの心に沁みる朗読

しのげるお金と

寸劇の迫力満点の演技

友達と

鳥肌が立った

後は気力で生きている

大槻 幸子

山本 佳代子

我が家の庭に

夏野菜の苗を植える

いい天気 気持ちがいい

季節を忘れた

気分転換に散歩でも

野菜ではなく

ああ空気がうまい

季節を伝える野菜になあれ

気が付けば 身の周りに

松本 晴美

「気」がいっぱい



杉下 啓恵

洗濯岩は

波も洗う

じゃぶじゃぶと

白く泡だち

海の布は鮮せん

岡本 まさ子

人間が汚した空気を

浄化する

木々たち

新緑の息吹を

私の心にもください

高原 美智子

私、気が付いていました。

あの人のどことなく

元気のないところ

でも、怖くて聞けませんでした

お別れの涙しました。

松本 晴美

